旧岡山県農学校　現高松農業高校地域向け情報誌

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第２２号

平成１８年6月15日

発行元
岡山県立
高松農業高校
tel
086-287-3711
fax
086-287-3713

今季、備前地区大会で準優勝。県大会では惜しくも林野高校に負けたが、先頭打者ヒットによる先制点、３塁打２本、エース田村の力投、捕手栗山の名リードなどナイン一丸となりチームワークは最高。夏の大会へ期待が高まる。写真は練習の一風景。

【朝礼台】「早寝早起き朝ごはん」

文部科学省は今年度、「早寝早起き朝ごはん運動」を始めました。４月には活動の推進母体として全国協議会も設立し、各地で啓発活動を行っています。

テレビやゲームなどで夜更かしをしては、朝寝坊、朝食抜きという悪循環に陥る子供が増えているからです。生活が過度に夜型になりますと、目覚めは悪く、体内時計と実際の時間との間にずれが生じ、時差ぼけのような状態になります。朝食は食欲が出ず、つい抜きがちになります。そのため、体温が上がらず、何となく身体がだるい、頭はボンヤリ、気持ちはイライラしてきます。そうなると体調が崩れ、学習意欲も低下します。本校においても、頭痛や腹痛などの身体の不調を訴えて、保健室に駆け込む生徒が多くいます。文科省の調査では、朝食を食べないことがある小学生は１５％、中学生は２２％に上るといわれています。また、２００４年の国立教育政策研究所調査では、「朝食を必ずとる」小中学生が、「全くかほとんどとらない」小中学生より、テストの平均得点が各教科で平均１割以上高い傾向にあるといわれています。小中学校だけでなく、高等学校においても「早寝早起き朝ごはん」は学習意欲の基盤になるものです。「早寝早起き朝ごはん」を中核にして、一日を健康な朝でスタートできるようにしたいものです。

【木漏れ日】

本校に次のようなお便りを頂きました。

「初めまして
最近開店したスーパーマーケット　マルイ（岡山市大福店）に出品なさっておられるトマトは立派なものばかりでとても美味しく、私は大のファンです。
もちろん、他の野菜も品質が良く、皆さんが丹誠込めて育てておられる様子が感じられます。
私は必ず出品なさっておられるコーナーを覗くことにしています。自然が相手で、色々大変な事もあるでしょうがこれからも頑張って美味しい野菜を育てて下さい。
そして皆さんの将来にこの高松農業での経験が有意義に役立つようお祈り致しております。」

岡山市内・Ｕさん

【放課後】

今回は紙面の都合で所属学科学年を省略しています。

【レスリング部】5／14・山口県・鴻城高校

○中国大会　個人
55kg級　第3位　高橋
60kg級　第3位　青井
〃　津嶋
96kg級　優勝　時信

○インターハイ予選6／3・4・高松農
団体・2回戦・高松農業　6-1　関西高校
決　勝・高松農業　2-5　倉敷高校
個人・55kg級　第2位　堀田
60kg級　第2位　青井
66kg級　第2位　佐藤
74kg級　第2位　西山
84kg級　第2位　北
96kg級　優勝　時信・全国大会へ
120kg級　第3位　横山
〃　原

【バレー部】県総体・6／3・4・倉工・古城池

〔男子〕　高農０（3-25、13-25）２　総社
〔女子〕　高農０（2-25、15-25）２　古城池

【射撃部】中国大会予選・5／13　倉敷翠松

女子　B・ライフル立射　優勝　浅野
第2位　岸本
中国大会出場　男子　中島・森・七瀬
女子　浅野・岸本・田中

インターハイ予選・6／3・4　倉敷翠松ほか
男子　B・ライフル立射　優勝　中島
エアライフル立射　第2位　中島
女子　B・ライフル立射　優勝　浅野
第2位　岸本
女子　エアライフル立射　優勝　岸本
第2位　浅野

【卓球部】県総体・6／3・4　きびじアリーナ

男子団体　高松農業　3-0　落合
高松農業　3-0　高梁日新
高松農業　2-3　岡山工業
あと一歩でベスト8を逃す！しかし気後れすることなく堂々と戦った姿は立派。新キャプテンのもと、力を付けていこう！

【陸上部】県総体・5／26～27　桃太郎スタジアム

110mハードル　第10位　有松
三　段　跳　び　第9位　尾崎
備前支部総体・5／13・桃太郎スタジアム
三段跳び第3位・走り高跳び第5位　尾崎

【弓道部】県総体・6／3・4　吉備津弓道場

女子団体　第5位
女子個人　ベスト10　上田・岡谷
男子個人　一次予選通過　新谷

【サッカー部】5／14　備前支部総体・一宮高

第一試合　高農　1（0-1、1-0）1　金川
第二試合　高農　5（2-2、3-1）3　吉備高原

【ソフトテニス部】5／13・備北地区学校対抗戦・高梁市神原テニスコート

男子　優勝
女子　第3位

【水泳同好会】岡山県高校水泳大会・6／3・児島マリンプール

200m背泳ぎ　第2位　茅原

【ラグビー部】県総体・美作ラグビー場

高農・鴨方・瀬戸　0-78　林野・津山高専
3位決定戦
高農・鴨方・瀬戸　12-12　倉南・理大附・興譲館
15人制の部　第3位

【軟式野球部】県総体・岡山県営球場

高松農業　2-4　林野高校

【柔道部】6／3・岡山武道館

男子・66kg級・大月・ベスト8

【バスケットボール部】春季備前地区予選

男子　高農35-45邑久　男女とも強豪相手に健闘
女子　高農41-39朝日、高農25-69明誠
▽　備前地区総体　男子　高農38-76明誠　女子　高農33-56玉野
※県代表決定戦↓

【農場】

先月お知らせした園芸科学科の蘭展の作品です。

『ランランパーク』
特別奨励賞　岡山県商工会連合会賞　⇩

⇧　フラワーアレンジメント
銀賞作品　村上晴香・延吉美佳さん

【ホームルーム】

サッカーのワールドカップが華々しく開幕した。日本からは23人の選手が出場している。記者はサッカーには全くの素人であるが今から24年前（１９８２年）のある日の新聞記事を思い出す。その記事は静岡県のある高校生のことを報じていた。その中で彼は「このまま日本でサッカーを続けていても、食べていくことはできない。だから僕はブラジルへ行ってプロのサッカー選手になる。」この少年こそ三浦和良その人である。彼は高校サッカー界の名門である静岡学園高校の1年生だったがこう言い残して言葉も習慣も違うブラジルに単身渡った。若干15歳であった。その後彼はブラジルのプロサッカーチーム・サントスFCで活躍し、平成２年23歳の時再び日本に帰って来た。我が国にプロサッカーのＪリーグが出来たのはそれから2年後の平成5年（１９９３年）のことである。その後の活躍は皆さんも御承知のことである。もし三浦和良が居なかったら、日本サッカー界はどうなっていただろう。15歳の時の決断にどうしても拍手を送りたい。全くの偶然であるが、三浦知良は今回のワールドカップの日本が予選リーグで対戦する3国（ブラジル・クロアチア・オーストラリア）全てでプレーした経験があるという。

サッカーには全くの素人であるが、頑張れにっぽんである。（12日、オーストラリアには3対1で惜敗）